

「わくわくどきどきしたいんじゃー、シン・びわこ学園秋祭り」

～「ふれあい」をテーマに笑顔の溢れる最高の時間～

びわこ学園医療福祉センター草津・第3病棟 生活支援員 谷口 和也

秋祭りの1週間前の天気予報では降水確率が高くなっていましたが、みんなの気持ちを通じたのか、令和4年10月16日（日）きれいな青空の下開催することが出来ました。今年の秋祭りのテーマは「わくわくどきどきしたいんじゃー、シン・びわこ学園秋祭り」テーマ曲は嵐の「ハピネス」。テーマの“シン”という言葉には“新”“真”といろんな気持ちを込めてみんなでワクワクドキドキの秋祭りを作り上げてきました。

オープニングでは代表の利用者さん2名と共にパネルを発表。テーマは「ふれあい」。利用者さんの手形足形を使い、7色の虹で表現しました。小さな隙間の中にはびわこなまも複数入っています。このアートパネルは屋内の廊下に設置して、皆さんに見ていただけるようにしています。

野外ステージは、午前2部、午後2部の4部構成で参加者が密にならないように配慮しました。午前のステージは「キラリ☆ウインドポップス」さんの演奏でした。色んな楽器の音のハーモニーとノリの良い楽しい歌声で利用者さんだけでなく参加されたご家族やボランティアの方も笑顔になっていました。



午後のステージは「みみすまバンド」さんの演奏でした。今年のテーマ曲である「ハピネス」や「グリーングリーン」を歌っていただきました。昨年に引き続き利用者さんの名前を呼んでいただいたり、誕生日の利用者さん2人に向けてハッピーバースデーの歌のプレゼントもあり、笑顔が絶えないステージとなりました。



午後のステージの後には、びわこ学園創立60周年企画として、職員や利用者さんが作詞や作曲をしたオリジナル曲を職員のギターに合わせて歌い、曲に込められた思いを振り返りました。これまで歌い継がれてきた曲に、みなさん手拍子でとても盛り上がりました。今年は「ステージの様子を病棟内でも見る事ができるように！」とオンラインでつな

ぎ、一日通して秋まつりのステージを楽しむことができました。また、野外ステージとは別に、各病棟で体験ブースとして1・2病棟は「スヌーズレンコーナー」3病棟は「ピクチャリウム」を行い、いつもとは違う雰囲気の中でリラックスする音楽を聞いて、ゆっくりとした時間を過ごされました。

模擬店の出店は今年も感染対策から見送りとなりましたが、利用者さんのリクエストやアンケートから、お祭りの雰囲気を味わってもらえるよう「かす焼きそば（大阪のご当地グルメ）」とデザート「チョコバナナ」に決定。みなさん笑顔でおいしそうに食べられ楽しい昼食の時間となりました。また、「わたがし」を各病棟に用意して味わいを楽しまれる利用者さんもおられました。

最後となりましたが、南笠東学区社会福祉協議会様、パナソニックアプライアンス労働組合草津地区支部様より、活動や日常の中で楽しむことができる楽器や物品を寄贈していただきました。毎年のご厚意に感謝申し上げます。

ご参加して下さったご家族、ボランティアの皆様、多くの方々のおかげで笑顔の溢れる最高の時間を作りあげることが出来ました。本当にありがとうございました。

